

# Keyword：シズル感

広告業界で購買意欲を高めるために使われている「シズル感」は、主に食品の広告などに使われますが、「ヨダレが垂れるような、よりおいしそうに感じる様子」のことを意味します。これは、肉を焼く時の「ジュー」という音が、英語の擬音語で「シズル (sizzle)」と聞こえることに由来しています。肉がジュージューと焼けて香ばしい香りと、肉汁がしたたり落ちるのを見て食欲がそそる様子を表現しています。今回は、そのシズル感を出すための簡単なテクニックをご紹介します。

例えば、餃子のシズル感と言えば、出来立てのアツアツ感ですが、皿に盛りつけたりして写真を撮る頃には、すっかり湯気が無くなって、あまりアツアツ感が出せない場合が多いと思います。そこで、Photoshopを使って視覚に訴えるシズル感を演出してみましょう。

①適当な料理の写真を用意します。今回は、サンプルとして冷めきった蒸し餃子の画像を使います。

②不透明度を調整して、湯気の濃度を調整します。ここでは90%にしました。

③新規レイヤーを作成します。

④背景色を白色 (#ffffff) に設定します。

⑤[フィルター]→[描画]⇒[雲模様1]を選択します。

⑥湯気っぽいフィルターがかけられました。

⑦湯気は、気流によって立ち昇るので、ややもやを波形にします。[フィルター]⇒[変形]⇒[波形]を選択します。

⑧波数・波長・振幅・比率を画像の数字を参考に設定し[OK]を選択します。

⑨なげなわツールで、湯気の出る範囲を指定します。この画像では、蒸籠(せいろう)の周りにも湯気が出ているイメージを作るため、フリーハンドで適当に囲みます。

⑩なげなわツールを選択します。

⑪シズル感を加えた画像の完成

冷めきって、美味しくなさそうな餃子も、湯気を加えるだけで、それなりのシズル感が出ますね。

今回は、蒸籠を開けた瞬間をイメージして極端に湯気を多くしていますが、不透明度の数字を調整して、程よいシズル感を出しましょう！

## T O M O K O ' S R E C O M M E N D

今月は、2013年に発表されたアルバム『イムニティ』がMERCURY PRIZE ノミネートや世界各国のメディアの年間ベストに選出され、大ブレイクを果たした近年のエレクトロニックミュージックシーンの最重要アーティストでもある、ロンドンの天才プロデューサー、ジョン・ホプキンスのニューアルバム『シンギュラリティー』をご紹介します。世界的なブレイクを果たした前作から約5年振りとなる本作。全9曲、約1時間に及ぶ今作では、明確なアイデアの元に制作された新曲を一旦破棄して、全てゼロから取り組んだという内容で、前半～中盤にかけてはこれまでの慣れ親しんだジョン・ホプキンスのサウンドの楽曲、アグレッシブなテクノが並び、そして中盤～後半と徐々にアンビエントな楽曲へと変化を遂げていきます。彼が制作中に経験した様々な精神状況が反映されています。今年のカンロックにも出演します。楽しみですねえ～☺

↑上のスペースを外部的にも開放致します。是非、寄稿をお願い致します。詳しくは、こちらまで→<http://adtain.tokyo/contribution/>

ご意見・ご感想は [adtain@adproject.co.jp](mailto:adtain@adproject.co.jp) まで メールでお寄せください。  
 発行：株式会社エーディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4  
[www.adproject.co.jp](http://www.adproject.co.jp)

皆様の いいね！ をお待ちしております。

facebook adproject

facebook がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!

もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>

# 2018 vol.073 6 Legend

対談企画⑦ 前編

## 音楽は本当に楽しい？



榎垣 寺田さんとは、お付き合いが長いですが、初めて会ったときは、もう音楽をやっていたんですって？

寺田 もう結構、長い間やってましたよ(笑)。

榎垣 最初に一緒にやった仕事は何でしたか？

寺田 榎垣さんが、有楽町の東宝にいらっしやった頃です。そこでパーティがあるから、ギターを弾けと言われて(笑)。ステージにセットが組まれて、上のほうにギターアンプを置いて「お前、そこに乗ってギターをウィーンってやれ」と言われてやったんですけど、あれは非常に怖かったですよ。高いところで、狭くて動けないところでギターをウィーンって(笑)。それが榎垣さんとの最初の出会いでした。

榎垣 それ、何年前のことですか？

寺田 もう、40年くらい前じゃないでしょうか。東宝の系列で音楽制作会社があって、そこからのつながりで、榎垣さんと『つくば万博』とか『横浜博』、『スペースワールド』などの仕事を一緒にやるようになったんです。

榎垣 博覧会関係のショーとかだね。

寺田 バンドでレコーディングした音源を使うことが多かったのですが、『つくば万博』の最終日に近くなったときに、生バンドでやるということになって、日系ブラジル人の女の子をボーカルにしてやりましたね。あの頃、榎垣さんは、オーディションを受けに世界中から集まった女の子からルックスだけで採用していたんですよ(笑)。

榎垣 パツと見て「この子！」ってね(笑)。

寺田 そうです。だから、歌は二の次(笑)。

榎垣 サンバの曲も「ブラジルから来るんだから、歌も踊りもこれで安心」と思ってたから、サンバが踊れない(笑)。

榎垣 あのと笑オーディションをやったのは、その子のお姉さんだったんだよ。お姉さんはダンサーで、その妹がついて来ていて、「あ、この子でいい！」って決めたんだよ。

寺田 ルックスで採るから(笑)。

榎垣 ルックスより、好きか嫌いかな。でも可愛かったよ。あの後、モデルになって女優になったんだよ。イタリアに行って、今ミラノに住んでるよ。

寺田 ルックスで採るのはいいんですけど、「歌をなんとかしろ！」と言われて、レッスンのために何度も筑波まで車で通ったんですから(笑)。でも榎垣さんとは、面白くて楽しい仕事が多かった。

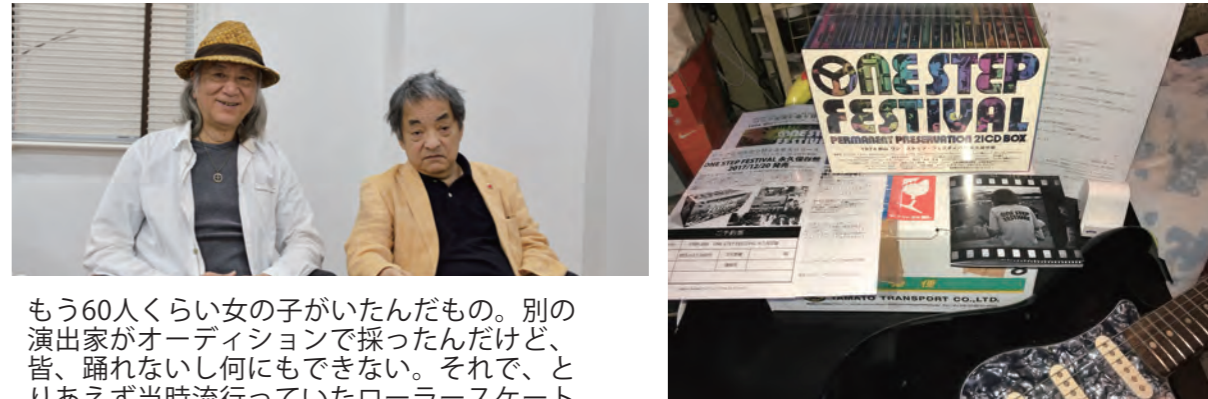
榎垣 そうだね。あの頃から「楽しい」ということを仕事に見つけ出したんだよ。「楽しいほうがいいや！」って。

寺田 それから『スペースワールド』で、僕はショーの音楽をいろいろやらせてもらいました。

榎垣 『スペースワールド』は、行ったら、



## adtainとは、adprojectとentertainが融合した「おもてなし」のトピックス誌



もう60人くらい女の子がいたんだもの。別の演出家がオーディションで採ったんだけど、皆、踊れないし何にもできない。それで、とりあえず当時流行っていたローラースケートを覚えさせて、踊りをこまかすためにローラースケート込みのショーにした。寺田さんは早見優の音楽監督をやったというからお願いしたのに、1回も早見優に会わせてくれなかったな(笑)。

寺田 サンミュージックは結構大変なんですよ(笑)。『スペースワールド』では、毎年、新しいショーを2回ぐらいずつやりましたね。それらの曲を作る中で、僕は1曲の中に盛り上がりがあったり、静かな部分があったりとかドラマ性を持たせるような曲作りをしていました。そうしたら、榎垣さんが「おい寺田！ 20分30分のショーの中に起承転結があればいいんだ。1曲の中に起承転結を作ったら忙しくてしょうがないだ！」と(笑)。

榎垣 寺田さんには、あくまでもショーの音楽を作ってもらっているわけだけど、僕の場合は衣装はこうで、振り付けはこうで全体を見たところで音楽を考えているから、そのへんの違いはあるかもしれないよね。寺田さんとやらなかったのは演歌だけだね。あとは、世界中の音楽をやったよね。

寺田 ある企業のイメージソングを作るといってお仕事で、夜近い時間に榎垣さんから「寺田あ！ 明日来い！」と、いきなりの電話があったんですよ。たまたま予定が空いていたから「わかりました。行きますよ」と、用件を訊くと「歌謡曲を作れ！」と言われて、「いいですよ、作りますよ」と即答しました。電話をもらった翌日の打ち合わせで榎垣さんが「田舎のオジちゃんオバちゃん相手に、俺たちがいつも作ってるような曲を作ってもしょうがないだろ。歌謡曲作れ！」と何度も言うので、「イメージソングで、そんな歌謡曲を作ってもいいのかな」と不安に思っていたんですけど、悩んでもしょうがないと思って、歌謡曲とかそういうことを一旦忘れて、フンと朝シャンしてたら、その何気ない鼻歌が「あれ？ いいじゃんこれ」と閃いて、忘れないうちにと真っ裸で譜面に書き留めたんです。まあ、そういうノリで作ったワケですよ。でも、そういう曲のほうが普通の人にわかりやすいということがあるよね。

榎垣 なるほどね。

寺田 結局、そのときはオーダーに沿ったものと、好きに作った2曲をプレゼンしたんです。そうしたら榎垣さんが「両方よろう！」と言ってくれて。

榎垣 ギャラは1曲分しか払ってないよな。でも先方からは2曲分もらったよ(笑)。

寺田 ええ～っ!? (次回に続く)

※寺田十三夫氏：1948年生まれ。1972年、LA録音のアルバムでメジャーデビュー。その後作曲家として数多くの作品を制作。



PRODUCER：カデット 葉子

■Title：ディスコの日

■Date：7月22日

# Project 1.



トニーのシルエット

「ディスコの日」7月22日に制定!! (トヨタ車の純正ナビが毎日案内する記念日に加わるのでしょうか? 来月...)

つい先日、DJ OSSHY さんのマネージャーさんよりご連絡いただきました。

今年は日本にディスコが上陸してから 50 年、「ディスコでフィバー」ブームのきっかけとなったジョン・トラボルタ様主演の映画「サタデー・ナイト・フィーバー」の日本公開から 40 年、そして私が生まれた年はディスコ元年(関係ないですね...)

『国民にとっての共有財産である「ディスコ」「ディスコミュージック」「ダンス」というエンターテインメントを、一年に一度、老若男女で分かち合い、喜びを享受出来るような一日を残したい』という思いで、日本のディスコ文化を長年牽引し続けてきた DJ OSSHY さんが、映画の日本公開日「7月22日」を「ディスコの日」とするよう申請を続けてきたそうです。祝・ディスコ記念日! ビバ・DJ OSSHY! 誰もが知っている DISCO のアイコン、トニーのシルエットを見るだけで「Stayin' Alive」がどこからともなく流れてきてワクワクしますよね? あれ? しないですか? たとえ踊れなくても気持ちがオープンになれば DANCE したくなると思うんですよね。シャイなわたしも踊れませぬけど...

ちょうど 1 年前の 6 月。横浜でディスコイベントに携わらせていただきました。踊りたくて来たはずの皆さんですが、はじめは少し恥ずかしいのか、なかなかフロアに出てきませんでしたね。周りの様子を観察しつつ、徐々にフロアへ。グループで、カップルで、親子で、一人で、思い思いに踊って笑って本当に楽しんでいました。わたしはディスコ世代ではなくクラブ世代(クラブじゃない)です。それでも見ているこちら側も本当に楽しいひと時だったことを思い出しました。(弊社へご相談くださった関係者の皆さまありがとうございました!) 今後はさらにディスコイベントが各地で行われるようになるのではないのでしょうか。是非、楽しい汗をかきに出かけてみてください。行けばあなたも踊りたくなるはず!



PRODUCER：須田 潤一

■Event：縁むすび風鈴 2018

■Date：平成 30 年 7 月 7 日(土)～9 月 9 日(日)

■Place：川越氷川神社

# Project 3.

今年も 7 月 7 日(土)より川越氷川神社で縁むすび風鈴が始まります。

毎年、多くの方に参拝いただいております。

ぜひ、皆さんもご家族、お友達、カップルで見に来てください。



## What News

### ジャパンサイフォニストチャンピオンシップ 2018 (JSC) Japan Siphonist Championship 2018

EXECUTIVE PRODUCER：平田 元春

5 月 16 日に浅草「都立産業貿易センター・台東館」に於いて「ジャパンサイフォニストチャンピオンシップ 2018」が開催されました。3 月に東京で 2 日間の予選を行い、6 名の精鋭で決勝を競い優勝したのは、丸山珈琲の中山 吉伸サイフォニストでした。大会は、競技者が選定した珈琲豆のブレンドとアレンジ珈琲の味とプレゼンテーションで競いました。優勝した中山さんは、9 月 26 日～28 日の SCAJ2018 の中で行われる「ワールドサイフォニストチャンピオンシップ 2018」に日本代表として出場します(10 国予定)。また、5 月 15 日は「ジャパンハンドドリップチャンピオンシップ 2018」が開催されました。JHDC2018 の優勝者は、Un Cafe Sucre 株式会社の深浦 哲也さんでした。深浦さんは、SCAJ2018 の「ジャパンプリューズカップ 2018」(JBrC) に出場し世界大会(WBrC)を目指します。



## 50回目のファーストキス

PRESIDENT：檜垣 俊吾

いつもこの時期の映画は、邦画ばかりでつまらないので映画を観る習慣が途絶え、また秋から年末にかけて洋画系超大作キックで映画を見始めるといった毎年の繰り返し。もう少し分散して放映してほしい。そんな閑散期の邦画ですが、久しぶりに平日に休みをいただいたので、期待せずにどんなものか妻と観に行ってみた。それが「50回目のファーストキス」。原作は 2004 年に全米で 1 位を記録したもののリメイク。平日だからなのか、つまらないからなのか、確か公開 1 週間も経っていないはずだが、上映スタート時に客がなんと 7~8 名。「外した〜。評判どおりカンヌ受賞した『万引き家族』にすべきたった」と思いつつもあとのまつり。ストーリーはラブコメディで運命的に出会った女の子が、実は事故の後遺症で短期記憶障害によって、楽しい思い出も恋をしても 1 日だけの記憶。毎朝記憶がリセットされるというちょっと悲しい話。原作と職業が違うものの配役が日本人でもおかしくない設定に替えられている。話は単純なもの、ちゃんとグッとくるシーンがいくつか用意され、ラブコメディとしては、やり過ぎてない程良い仕上がりに思う。しかも原作は実話だというから泣けてしまうが、アメリカ映画の良いところのハッピーエンドに救われた。しかし今回は公開のタイミングがよくなかった。前告、追告含め露出の絶対量は『万引き家族』が上。我が家にいる小学 2 年生が意味も分からず「万引きしたら〇〇」と口ずさむほどである。物事のタイミングと根回し勝負で、勝った映画と負けた映画になったこの 2 つの対照的な映画をぜひご覧ください!



アダム・サンダー&ドリュー・バリモア主演による 2004 年のハリウッド映画「50 回目のファースト・キス」を、山田孝之と長澤まさみ共演でリメイクしたラブコメディ。

## 天城越え

### 第 2 プロジェクト 弓狩 章裕

先日、伊豆の方で、屋外イベントの運営・制作に携わらせて頂きました。6 月に入り、梅雨入りの影響もあって天候には恵まれませんでした。その辺りの模様は次回お話しさせて頂こうと思います。今回は伊豆つながりで「天城越え」を紹介させて頂きます。石川さゆりさんの歌でも有名な「天城越え」は、東海道「三島」と下田を南北に結ぶ「下田街道」の一部、命がけの最も険しい峠だったそうです。天城峠は 1904 年(明治 37 年)に完成した旧天城トンネル(天城山隧道)によってできた峠になります。トンネルができたことによって、多くの人や物資がこの峠を越えて行き来するようになりましたが、旧天城トンネルができる前は二本杉峠が使われていて、それより前は古峠が天城越えの峠として使われてきたそうです。旧天城トンネルは現在、重要文化財になっており、全長約 446m の石造りのトンネルで、現存している物では日本で最長の石造りトンネルになっています。

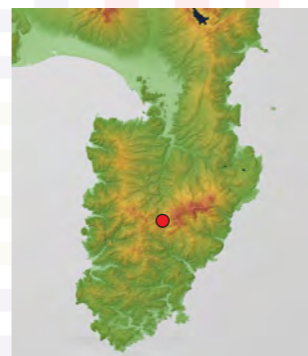


天城越え

第 2 プロジェクト 弓狩 章裕



旧天城トンネル(天城山隧道)



伊豆半島の地勢と天城峠の位置

## Project 2.

土井 晃範

■Event：「Imagenerations」発売記念イベント

■Date：5/26

■Place：芝浦ニューピアホール

今回ご紹介させて頂くのは、株式会社サンライズプロモーション東京様よりご依頼を受けて舞台制作を行いました『CD 発売記念イベント』です。このイベントの主役は、Taiki こと山崎大輝君。彼の経歴を少し紐解いてみると、彼は 2010 年のジュノン・スーパーボーイ・コンテストで審査員特別賞を受賞、その翌年芸能事務所に入所し芸能活動を始めることとなりました。ミュージカル「忍たま乱太郎」を始め、多くの人気ある舞台を経験し、最近では宇宙戦隊キュウレンジャーの一人として日夜地球の平和を守ったりと大活躍をしている若手人気俳優です。

今回はそんな多方面で活躍する彼がアーティストとして初のシングル CD を発売した記念イベントを、「NEW PIER HALL」で行いました。前売りチケットがほぼ完売する程の人気振りで、ほぼ 100% と言っていいほど女性のお客様だった為、同じ男として本当に羨ましいと思う瞬間でした(笑)

また今回のイベントは、新曲の発表だけではなく、ファンの方達への日ごろの恩返しという山崎君の想いもあって、芸能活動を始める前の自らの生い立ちなどを見せるといったコンテンツもありました。その中で、彼が芸能の世界に興味を持ったきっかけは音楽で、「いつか音楽をやりたい」という夢を持っていたと語っていました。その夢の第一歩になった本イベント。今後も見守っていききたいと彼の虜になってしまった僕がいます。

これから益々活躍の場を広げていく彼を是非皆様も温かく見守って頂けたら嬉しいです!



PRODUCER：岩下 信而

■Event：6 月 12 日のもうひとつのアメリカ

■Date：6 月

■Place：東京

シンガポールのセントーサ島で、米国と北朝鮮の首脳会談が実施される予定の 6 月 12 日(6 月 11 日入稿日に執筆中)東京でも米国主催の大規模なイベントが開催されます。USDA 米国合衆国農務省主催により、米国有数の食材、食品、飲料などの企業 40 社、総勢 100 名以上のアメリカ人が一挙に来日し、東京そして大阪で一トトレードミッションを開催します。その全体運営を担当する弊社は、会議の準備、運営はもとより、成田、羽田での空港での入国送迎(偉そうに書いていくけど、トランポは橋元、秋元、太田の頑張りに任せっきり。ありがとう!!)、サンプル品の輸入管理、会場との調整、そして彼らの日本市場視察などのサポート、さらに大阪への移動から実施を終えての帰国までの 1 週間を来日アメリカ人と共にします。USDA がこれほどの規模での日本開催は初めてのこと。この大プロジェクトの担当は、先日の詩子のコラムにも登場した、アメリカ大使館の名プロデューサー、アレックス大塚さんではなく、生粋のワシントン人(ワシントン D.C. 市民)。長く生きているから日本人同士なら大抵の職種や商流との調整はできますが、東京のゆるいプロデューサー(#me)と世界一のワシントン D.C. とのコミュニケーションはいかに。(この号多分続く)とりあえずは運営が円滑にいくよう根を詰め、数十年ぶりにパソコンで寝落ちしました、「なつかしい痛みだわ〜」そんな(短期)仕事漬けのボクちゃんの唯一の息抜きは、夜中に録画で観るダー子。資産があったら騙されたい!!

さて、このツアーが終わったらエンタメ三昧に戻るぞ! キョンキョン事務所のムブチの計らいで、小泉今日子の芝居チケットも手に入れたし、マットディロン「サバービコン」もジュディアロパーツとダメ男を演じたら当代一のオーウェンウィルソンの「ワンダー」も早く観たい。皆さんも沢山働いて、その倍遊ばしましょう! 最後に谷啓さんと、青島幸男さんの名言を捧げます「若いときや 2 度ない 3 度ある〜」えっ、今はカッコだらけの上、いつも以上にスカスカだと。おだまり、外人に隠れて書いてるの、では次号、Ciao!

## Project 4.

「Imagenerations」

type A

type B



Japan・June 2018